

平成 28 年度 第 1 回自己評価委員会 議事録

実施日：平成 28 年 5 月 31 日（火）16：00～18：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティナー専門学校 職員室

出席者：委員 池山英一（理事長・校長）

福本稔巳（教務主任 理容科専任教員）

高橋秀典（美容科専任教員）

水野 亮（美容科専任教員）

野内由里（理容科教員）

山口 孝（理容科専任・美容科兼任教員）

松本賢示（理容科兼任・美容科専任教員）

森山郁子（事務主任）

猪股奈津子（事務職員）

順不同

委員会次第（概要）

1. 開会

（1）理事長・学校長挨拶（2）メンバー確認

2. 議事

（1）職業実践専門課程についての概要説明

（2）自己評価報告（案）について

（3）意見及び質問

3. その他

4. 閉会

2-（1）

・理事長 校長 池山英一より職業実践専門課程の概要説明

2-（2）

・学校自己評価報告（案）に基づき、山口より説明を各項目ごとに行う。

2- (3)

・議論の中で出た意見及び質問

自己評価表

(1) 教育理念・目標

Q.各学科の教育目標とはどのようなものなのか？

A.理容科・美容科共通ですが、国家試験全員合格をまず第一に掲げている。

(3) 教育活動

Q.授業評価の実施評価体制は学生が教員を評価するのか上司が教員を評価するのか？

A.学生が教員を評価している。現在は理容科・美容科2年時の卒業間近に行っているが各学期毎に実施を検討していく。

Q.業界との連携において優れた教員を確保するとあるが、現状は正規職員の教員不足という面を感じるがどうか？

A.業界との連携は27年度において「ヘアカラー協会」「タカラベルモント」各社に実際に授業に入ってもらった。また今年度はさらに教育団体「愛知県BTA連合会」にお願いしている。業界との連携はますます進んでいる。

Q.教育のエリアーレとして「マナー習慣づけ」「整理整頓」を目標にしているが、現状はどうか？

A.以前から美容科教室の汚れが目立つ。ゴミ箱の設置等を検討する。帰る時、机の上に何も置かない等整理整頓にも一層注意する。

(4) 学修成果

Q.退学率の低減に対する対策はどうか？

A.退学理由は経済面、学業不振、家庭内問題等あるが、「専門学校勉強が思ったより大変」という声をよく耳にする。本人や家庭への電話のタイミング、父兄の呼び出し等諸事情も各々あり、一律にルール決めできるものではないが、密接に連絡は取り、また上司への報告をしている。高校時代の様子を聞く等高校側との連絡もしている。

(5) 学生支援

Q.学生相談の体制はどのようになっているか？

A.担任中心に行っているが、担任には相談しづらい事も。大きな問題は、すべての教職員が情報共有している。埼玉県理容美容専門学校では「キャリア・カウンセラー」資格を持った方が対応おり、担任以外が窓口になっているところもある。

(6) 教育環境

Q.防災に対する体制はどうか？

A.昨年度は千種消防署立ち合いによる消防訓練を実施しました。当校は全面禁煙であり、一次予防にもつながっていると思う。

(9) 法令等の厳守

Q.個人情報保護への対策はどうか？

A.昨年度から始まったマイナンバーに関しては、その利用目的を書面で明確にし、特定個人情報管理者に副理事長を選任している。また副理事長より各位に書面にて取扱開始の通知文を出している。破棄するものに関しては、シュレッダーで確実に処理している。

Q.自己評価の問題点の改善を行っているかどうか？

A.27年度自己評価他、学校関係者評価委員会等において頂戴した意見が全て改善している訳ではありません。すぐできる事とできない事を精査し、次回の会議で報告できるようにしていきます。

※以上の意見に対し、今後改善をしていくことで全員同意する。

記録：山口